

白川町通学路交通安全プログラム

～通学路の安全確保に関する取組の方針～

平成27年3月

白川町通学路安全推進会議

1. プログラムの目的

平成24年、全国で登下校中の児童生徒が死傷する事故が相次いで発生したことから、同年8月に各小学校の通学路において関係機関と連携して緊急合同点検を実施し、必要な対策内容についても関係機関で協議してきました。

引き続き通学路の安全確保に向けた取組を行うため、このたび、関係機関の連携体制を構築し、「白川町通学路交通安全プログラム」を策定しました。

今後は、本プログラムに基づき、関係機関が連携して、児童生徒が安全に通学できるように通学路の安全確保を図っていきます。

2. 通学路安全推進会議の設置

関係機関の連携を図るため、以下をメンバーとする「通学路安全推進会議」を設置しました。本プログラムは、この協議会で議論し、策定しました。

- ・国土交通省岐阜国道事務所
- ・岐阜県可茂土木事務所
- ・加茂警察署
- ・白川町建設環境課
- ・白川町教育委員会
- ・白川町小中学校
- ・白川町小中学校PTA

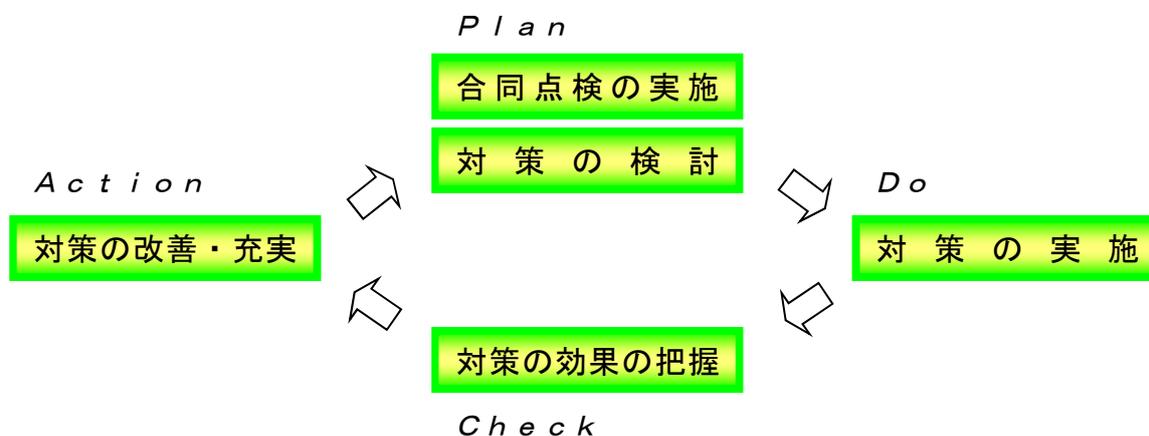
3. 取組方針

(1) 基本的な考え方

継続的に通学路の安全を確保するため、緊急合同点検後も合同点検を継続するとともに、対策実施後の効果把握も行い、対策の改善・充実を行います。

これらの取組をPDCAサイクルとして繰り返し実施し、通学路の安全性の向上を図っていきます。

[通学路安全確保のためのPDCAサイクル]



(2) 定期的な合同点検

○合同点検の実施時期等

- ① 小中学校は、毎年度、通学路の点検を実施し、PTA等からの意見にも配慮し、交通安全の観点から危険性が認められる箇所を抽出します。
- ② 小中学校は、点検の結果判明した危険箇所について、合同点検が必要な箇所を通学路安全推進会議に報告します。
- ③ 通学路安全推進会議は、各小中学校から報告のあった合同点検が必要な箇所について、合同点検を実施します（前年度までに合同点検を実施した箇所は、必要に応じて実施）。
- ④ 実施時期は、夏期を行うことを原則としますが、積雪期の危険箇所の把握も必要であることから、必要に応じて冬期にも合同点検を実施します。
- ⑤ 効率的・効果的に合同点検を行うため、通学路安全推進会議において、重点課題を設定し、合同点検を実施します。

○合同点検の体制

- ①学校、保護者、道路管理者、警察等が参加する合同点検を行います。

(3) 対策の検討

合同点検の結果から明らかになった対策必要箇所について、歩道整備や防護柵設置のようなハード対策や、交通規制や交通安全教育のようなソフト対策など、対策必要箇所に応じて具体的な実施メニューを検討します。

(4) 対策の実施

対策の実施にあたっては、対策が円滑に進むよう、関係者間で連携を図ります。

(5) 対策効果の把握

合同点検結果に基づく対策実施後の箇所等について、実際に期待した効果が上がっているのか、また、児童生徒等が安全になったと感じているのか等を確認するため、学校関係者等への聞き取り（アンケート）の実施など、対策実施後の効果を把握するための手法を検討し、必要に応じて実施します。

(6) 対策の改善・充実

対策実施後も、合同点検や効果把握の結果を踏まえて、対策内容の改善・充実を図ります。

4. 箇所図、箇所一覧表の公表

点検結果や対策内容については、関係者間で認識を共有するために「対策一覧表」及び「対策箇所図」を作成し、公表します。

【別添資料】 別添① 対策一覧表 別添② 対策箇所図